

令和8年度 埼玉地区市政懇談会(8/19開催) 事前要望等回答一覧

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
1	下埼玉自治会	古代蓮の里に、健康増進を目的とした屋根付きの健康遊具を設置していただきたい。	都市計画課	古代蓮の里では、遊具、ベンチ、園内灯等の老朽化が進んでいるため、令和9年度から公園施設長寿命化事業に基づき、遊具等の改修や取り替えなどを行う予定でございます。 そうした中で、屋根付きの健康遊具の設置も含めて検討してまいります。
2	下埼玉自治会	行田市ホームページの「メール送信フォーム」に、ファイルを添付できる機能を追加していただきたい。 また、写真などを添付して問い合わせや情報提供ができるようにしていただきたい。	広報広聴課	本市のメール送信フォームにつきましては、セキュリティの問題により、写真などのファイルを添付することはできない仕様となっております。 お手数でも、写真等を添えてお問い合わせや情報提供をいただく場合には、担当課にお問い合わせくださいますようお願いいたします。お問い合わせの内容に応じて、写真等の送付方法をご案内させていただきたいと存じます。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
3	下埼玉自治会	自主防災組織補助金の対象品目に「乾電池」を加えていただきたい。既に購入している懐中電灯やハンドスピーカー、携帯用無線機などの防災資機材には乾電池が必要なので、補助対象としていただきたい。	危機管理課	自主防災組織補助金制度につきましては、自主防災組織の育成・強化を図り、地域防災力の向上に資するとともに、懐中電灯、ハンドスピーカー、発電機などの防災資機材の整備を支援することを目的としております。 本制度は、食料、飲料、薬、ばんそうこうなどの消耗品は補助対象外としており、乾電池についても消耗品に該当することから対象外としております。 しかしながら、補助金を活用して購入した防災資機材の使用に乾電池を必要とする場合もあるため、ご要望の趣旨は十分に理解しております。 ご意見につきましては、本制度を見直しする際の参考とさせていただきますので、今後も地域防災力の向上のため、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。
4	下埼玉自治会	行田市のホームページに各種様式をダウンロードできるサイトを作成していただきたい。そのページから既存の各担当課のページへリンクを設定していただければ、必要な様式を探しやすくなり、分かりやすいと考える。	広報広聴課	本市のホームページでは、「申請書ダウンロード」のページにおいて各種申請書や届出書などの様式を掲載しているほか、各担当課のページにおいて、業務に関する手順の案内と併せて掲載しております。 市といたしましても、市民の皆様が必要な様式に容易にアクセスできることは、利便性の向上につながるものと認識しております。今回、いただいたご意見につきましては、今後のホームページの見直しに当たっての参考とさせていただきます。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
5	下埼玉自治会	自治会長宛の郵送物について、全てをメールやLINEに切り替えることは難しいと思うが、可能なものから順次切り替えることで、郵便料の節約につながると考える。	地域活動推進課	自治会長宛の文書につきましては、令和6年度から、年1回の定期届の際に電子メールでの通知活用についてご照会させていただき、ご回答いただいた自治会長に対してましては、電子メールを活用した各種通知等のやり取りを行っております。 また、今年度から自治会等における地域活動のデジタル化を推進するため、自治会DX推進アドバイザーを派遣し、SNSによる情報共有など自治会運営の効率化に向けた取り組みを支援する自治会DX推進事業を立ち上げました。この事業の一環として、自治会連合会のホームページを作成し、自治会連合会の情報発信に活用することを想定しております。 今後も、自治会長の皆様に提供できるデータの拡充に努めてまいりたいと存じますので、ご理解いただきたいと存じます。
6	片原第一自治会	さきたま火祭りについて、市はどのような考えを持ち、今後どのように関わっていく考えなのか伺いたい。 また、実行委員会と自治会との関わり方やコミュニケーションについて十分でないとの声もあることから、今後どのような方向性で取り組んでいく考えなのか伺いたい。	商工観光課	さきたま火祭りは、地域の実行委員会が主体となって実施している祭りであると認識しております。 このさきたま火祭りは、本市にとって、たいへん魅力のある行事となっていることから、市といたしましても、補助金の交付や職員によるサポートをさせていただいているところでございます。 祭りの実施にあたって、課題やお困り事などがございましたら、遠慮なく市へご相談くださいますようお願いいたします。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
7	野中自治会	当地区では、最寄り駅は北鴻巣駅を、買い物は鴻巣市内のスーパーを利用する方が多いので、そのような場所に移動するための公共交通を充実していただきたい。	交通政策課	現在、全国的な運転手不足や人件費、燃料費の高騰など地域公共交通を取り巻く環境は大変厳しくなっており、都心部でも路線バスやコミュニティバスの廃止や減便が相次いでおります。 こうした中、本市においても地域公共交通を維持していくことができるよう、「マイカーだけに頼らない社会」を目指し、路線バスやタクシーなどの公共交通との共存を図りながら持続可能な公共交通サービスの構築に取り組んでいるところです。具体的には広域交通である鉄道や路線バス、タクシーのほかに、これらを補完する移動手段である市内循環バスや乗合型ＡＩオンデマンド交通「うきしろ号」、また、夜間の移動の足としてご利用いただける日本版ライドシェア、行田市内１２カ所に加え熊谷市内２９カ所のサイクルポートでも利用・返却が可能なシェアサイクルなど、さまざまな移動ニーズに対応できるように、移動手段の充実に努めております。 この度ご要望いただきました市外への移動につきましては、「うきしろ号」の運行開始以来、市外医療機関への乗り入れについて、多くのお声をいただいておりますが、市外乗り入れに当たっては、法令に基づき乗り入れ先の公共交通とのバランスや調整を図ることが必要とされております。しかし、多くのお声にお応えすべく、本年度から隣接自治体への乗り入れに向け、乗り入れ先自治体や公共交通の事業者、関係機関と協議を開始し、その早期実現に取り組むべく現在準備を進めているところです。引き続き、市民の皆様が安心して移動できる「マイカーだけに頼らない社会」の実現に向け、取り組みを進めてまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
8	野原自治会	人口減少と少子高齢化に対し、市ではどのような施策に取り組んでいるのか伺いたい。	企画政策課	本市では、令和6年10月に「行田市基本構想」を策定し、人口減少の抑制とまちの活力創出のための重点政策として「子育て支援や教育の充実」、「開発の促進・雇用の創出」、「交通インフラの整備」の3つの柱を掲げ、これらに関する施策について、繋がりをもって一体的に展開する「新しい行田の好循環」に向けた取組を進めております。 現在市では、本構想に基づき、所得制限のない3歳未満児の保育料無償化をはじめ、学校再編に向けた取組み、企業誘致による雇用の創出、A I 技術を活用した新たなデマンド交通の導入などのほか、国道17号熊谷バイパスの高速道路化やインターチェンジ設置の早期実現を国・県に強く要望するなど、様々な取組を行っており、特に子育て施策につきましては、利用者からも高い評価をいただいていることから、若者世代の転入に一定の効果を挙げているものと考えております。 また、さらなる移住・定住促進のためには、現在本市が行っている施策や本市の住みやすさを広く発信することが重要であると考えており、今年度は市ホームページのリニューアルやインターネット上の検索連動型広告を実施し、移住希望者に対する積極的な情報発信を行うこととしております。 今後も人口減少の抑制が図られるよう、各種施策の推進に努めてまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
9	野上手自治会	生ごみの回収を（現3回/週）毎日回収してもらいたい。	環境課	「生ごみの収集頻度を増やしてほしい」とのご要望につきましては、市民の皆様の利便性向上に直結するご意見として受け止めており、特に気温が高くなる夏場においては、生ごみの臭いや衛生面へのご不安が一層高まるなど、日々の生活環境に深く関わるものであると認識しております。 現在、埼玉地区における燃やせるごみの収集は週3回実施しており、これは近隣の自治体と比較しても少くない状況でございます。 夏場における生ごみの臭いや衛生面のご不安を少しでも軽減していただける方法として、「生ごみの水切りを徹底する」、「ごみ袋はしっかりと縛る」など、日常の中で少し工夫していただだけで、臭いの軽減や衛生環境の改善につながりますので、ぜひお試しください。 また、本市では、ご家庭での生ごみ減量を目的に、電気式生ごみ処理機の購入補助制度や、生ごみ処理機を実際にお試しいただける機器の無料貸出し制度もございますので、ご検討くださいますようお願いいたします。 今後も、市民の皆様から寄せられる貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、生活環境の向上とより良いまちづくりを目指してまいります。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
10	野上手自治会	傷んでいる道路を修理してもらいたい	道路治水課	市内各所から寄せられる生活道路等の要望につきましては、「行田市生活道路等事業評価制度」に基づき、通学路の整備の有無や道路通行時の危険性などの現場状況、整備による事業評価・効率などに基づき、AからDランクまでの4つに評価し、Aランクから優先的に順次実施しているところでございます。 道路の修理につきましては、まずは道路の状況をしっかり確認して、その結果を踏まえて適切な対応を進めてまいりますので、道路治水課までご連絡をいただければ幸いです。
11	野上手自治会	【小・中学生の暑さ対策について】 小・中学生の暑さ対策として、小学生の日傘の使用や中学生の帽子の着用について検討していただきたい。特に暑い時期は、熱中症対策の観点から、児童・生徒が無防備な状況にならないよう配慮していただきたい。	教育指導課	連日、厳しい暑さが続いており、各学校においては、学校に設置しているWBGT計や熱中症警戒アラートに基づき、子どもたちの安全に留意しながら教育活動を進めているところでございます。 登下校におきましても、暑さ対策のための日傘や帽子の着用を推奨しているところでございます。今後も暑い日が続きますので、子どもたちの安全を第一に考えた熱中症対策を引き続き継続してまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
12	渡柳上自治会	【学校再編計画に伴う団体組織等について】 市内を3つのブロックに分けた学校再編計画が進み、Bブロックでは新しい学校建設のための用地取得に向けて取り組まれていると聞いている。 これまで学校単位にあった学校運営協議会やPTAなどの団体は、学校再編後、それぞれ3つの組織に再編されるのか伺いたい。PTA役員のなり手不足や、公民館事業で行う家庭教育学級の企画が減少傾向にある中、これらの団体組織が今後どのようなになるのか関心がある。 また、これまで行田市で大切にしてきた旧村単位（地区単位）の考え方について、学校再編後、教育委員会としてどのように方向付けていく考えなのか、現時点での考えを伺いたい。	教育指導課、 教育総務課	学校運営協議会やPTAなどの団体から、学校外の視点でのご意見や教育活動へご支援をいただくことは、より良い学校運営や児童生徒の成長に欠かせないものであると認識しております。 そのため、再編後においても学校運営協議会やPTAなどの組織は、それぞれの義務教育学校に設置し、これまで実践してきた取組みを継承・発展させていきたいと考えております。 なお、新校における学校運営協議会やPTA組織を立ち上げる上では、教育委員会が主導の下、保護者や地域の皆様をはじめとする学校関係者で組織する開校準備委員会の皆様からご意見を伺いつつ、地域の声を生かした学校運営や学校に対する多様な協力活動が実現できる体制づくりについて共に検討してまいります。 また、地域に学校機能がなくなってからも、コミュニティ活動は一層充実していく必要があると認識しており、各地区・各地域の中で子どもを育むための取組みに対し、引き続き支援してまいります。

No.	自治会名等	意見・要望等	所管課	回答
13	渡柳上自治会	【公共施設マネジメント計画と公民館の今後について】 「行田市公共施設マネジメント計画」では、学校再編に伴い使用しなくなる校舎や校庭の活用も含め、公共施設全体の見直しが進められていると認識している。 かつて行田市では「1小学校区1公民館」としていたが、今後、公民館は地域コミュニティを形成していく上で重要な役割を担う施設であると考えている。 今後の公民館の設置・存続について、市はどのような方針を考えているのか。	中央公民館	地域公民館では、公民館主催の学級・講座、公民館認定クラブのほか、様々な団体の皆様にご利用いただいております。 地域公民館は、地域住民の生涯学習及び地域コミュニティ活動を推進する役割を担っており、学校再編により、今後、地域にとって地域公民館の機能はますます重要になるものと認識しております。 「行田市公共施設マネジメント計画」では、地域公民館は、現状の施設数を維持することを基本としております。
14	埼玉地区スポーツ協会	【学校跡地の利活用について】 学校再編には賛成である。埼玉小学校及び埼玉中学校の閉校後、校舎や校庭などの跡地を地域で利用できるのか。 また、どのように利活用する考えなのか伺いたい。	公共施設再編・まちづくり準備室	令和12年度の学校再編後の埼玉小学校（昭和48年度建築）及び埼玉中学校（昭和57年度建築）の跡地・跡施設の利活用につきましては、施設の耐用年数や劣化度合い、道路アクセスなどを踏まえ、小中学校とは異なる公共施設としての再活用や民間事業者等による利活用などの方針を検討しているところです。 令和12年度以降における校舎や校庭の利用につきましては、今後、地域の皆様のご意見を踏まえながら検討してまいります。